

# 生徒が粘り強く探究しつづけるための理科の授業づくり

～ふれる・つかむ過程とまとめる過程を関連付けた単元構想シートの作成を通して～

特別研修員 理科 吉澤 鮎子 (中学校教諭)

## 生徒の実態

- ・日常生活での生活経験の差
- ・主体的に学びに向かう態度の個人差

## 国、県の教育課題

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・始動人や非認知能力の育成

## 教師の願い

- ・生徒の気付きや疑問からの課題設定
- ・日常生活と関連させた探究活動
- ・ICT活用による生徒が作成した資料の集約・共有

生徒が主体的に学び、粘り強く探究する授業ってどうやって構想したら…



そんなときは、単元構想シートを使うと、授業を構想しやすいよ！



このシートで「ふれる・つかむ」過程から「まとめる」過程までを見通して、単元構想を可視化できる！

## 単元構想シートで構想した授業の様子

①単元で身に付けさせたい資質・能力を確認  
学習指導要領解説で確認しておきます。

②既習事項の確認  
主な既習事項を  
学習指導要領解説で  
確認しておきます。



③共通体験活動  
生活経験の差を埋め、  
気付きや疑問を引き  
出すための活動を考  
えます。



④単元の課題設定  
③での生徒の気付き  
や疑問を基に、生徒  
と一緒につくります。



⑤単元の課題の解決  
課題に対して学習を振り  
返り、答えを導く！

⑥新たな課題の設定  
もっと大きなミョウバンの  
結晶をつくりたいな



⑦追究する過程 単元の課題と課題を解決した生徒の姿を明らかにした上で、想定される生徒の気付きや疑問を生かしつつ、課題解決できるような学習内容を考えます。

単元構想シート			
教科書 P. ~ P.			
1年	単元名	単元名	
	記入例	記入欄	
ふれる・つかむ	主な学習活動 生活経験や既知の知識の共有 ○単元に関するところについて知っていることを出し合う。 ○共通体験に関する生活経験や知っていることを出し合う。 新たな気付きや疑問をもつための共通体験活動 ○本単元につながる共通体験を行う。	生徒の意識 ○何を学んできたか整理する ・既習事項を整理して記入 ○共通体験に関する生活経験や既知を記入し、未体験の児童生徒への配慮 ・共通体験に関する生徒の意識を整理する ○共通体験を通して気付けてほしいことを具体的に記入 ・共通体験での気付きが、追究する過程での学習内容とリンクするか確認する	主な学習活動 生活経験や既知の知識の共有 新たな気付きや疑問をもつための共通体験活動
まとめる	単元の課題の振り返り 解決できたこと、分かったこと ○「まとめる」過程の本時のねらいを記入 本時を振り返る	単元のまとめ (課題の答えを箇条書きで書く) ○「まとめる」過程の本時のねらいを記入 ○生徒の振り返りに表れて欲しい言葉を記入	単元の課題の振り返り 解決できたこと、分かったこと (課題の答えを箇条書きで書く) 本時を振り返る
追究する	○観察・実験の内容と記号時間を記入	○観察実験を行い、ねらいを達成できた生徒の姿を記入	

## 教師は

何を学ばせるか、これまでに何を学んでいるかを整理して構想できるので、共通体験活動が考えやすい！



共通体験活動によって生徒の気付きや疑問を引き出せた！

## 生徒は

共通体験での気付きや疑問が単元の課題につながる！



自分の知りたいことが課題になって解決するのが嬉しい！

だから

教師は単元を見通して授業の構想ができるので指導がぶれない！

生徒は単元を通して粘り強く探究し、見通しをもって学習に取り組める！

生徒と一緒に課題を設定し、単元を通して生徒が粘り強く取り組んでくれるのが嬉しい！



## 成果

- 教師は生徒にどのような共通体験をさせるか、その共通体験からどのような気付きや疑問を抱くか想起し、単元全体を構想し、一単位時間のつながりを重視して授業を組み立てることができた。
- 生徒は自分たちで設定した単元の課題を意識しながら、自分事として捉えて学習を進め、学んだことを生かし粘り強く探究しつづけることができた。

## 課題

- 単元構想シートに丁寧に詳しく記入しようとすると、文字数も多く負担につながる。一方で書くことを少なくすると、授業のイメージが湧きにくくなり、単元の構想もしづらくなってしまふ。
- 誰もが使いやすいように単元構想シートの蓄積について、個人内蓄積だけでなく、組織として蓄積していく方法を考えていく必要がある。